

学校に役立つものづくり

～木のおよさを生かしてつくろう～



◆ 活動の流れ

- 1 学校をみつめ、学校をよりよくするために
あるとよい「もの」を考えよう
- 2 製作していく構想をねり、計画を立てよう
- 3 計画に沿って製作しよう
- 4 完成したものを発表しよう
- 5 活用しよう

◆ 材料
必要に応じて



1 学校をみつめ、学校をよりよくするために あるとよい「もの」を考えよう

<考えていく際の視点>

- 自分たちがつくってわくわくするもの
- 学校に役立つもの
 - ・学校生活が楽しくなるもの
 - ・学校生活が便利になるもの
- 木のよさを生かしたもの

(1) 校内を観察したり、先生や在校生や保護者などにインタビューをしたりして、アイデアを集めよう。



(2) 友達と情報を共有しながら、イメージを広げていこう。



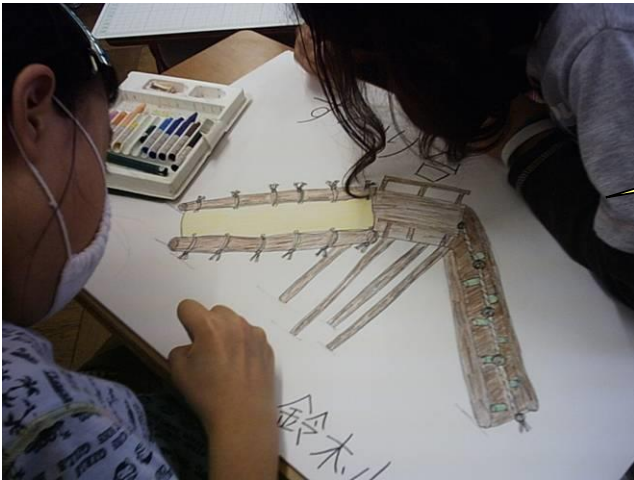
(3) 専門家の先生に、アドバイスをいただこう。

<ものづくりを進める上で大切なポイント>

「安全性」「目的性」「費用」「使いやすさ」「社会性」

(4) プレゼンテーションをしたり話し合ったりして、
自分たちが製作していく「もの」を決めよう。

＜プレゼン発表の準備＞



完成イメージは
こんな感じだね。



も型をつくと、イメージが伝
わりやすいね。



「つくり方」や「つくる目的」
「置く場所」なども、
はっきりと伝えよう。



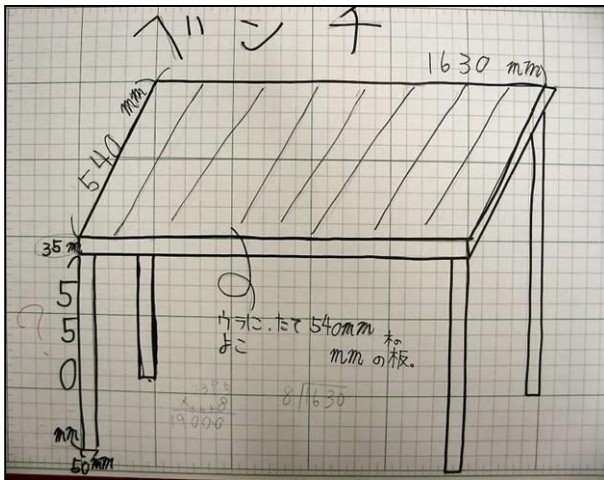
☆校内を歩いたり、インタビューをしたりして、使う目的をはっきりと
させた製作品を考えることができましたか。

☆自分が考えた製作品について、目的や材料などを明確にして紙に
まとめ、プレゼンテーションをすることができましたか。

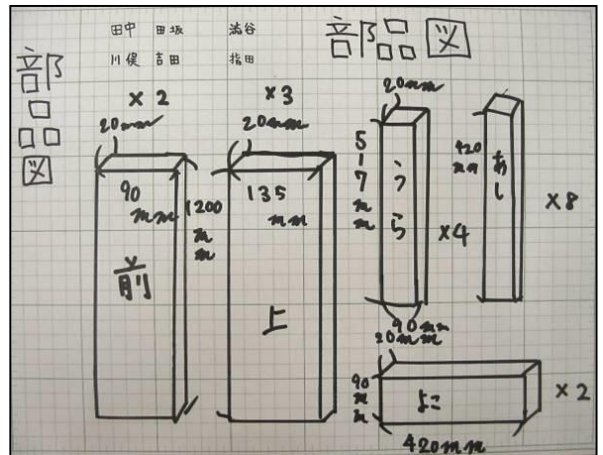
2 製作していく構想をねり、計画を立てよう

(1) 完成図・部品図を描き、必要な材料を考えよう。

<完成図>



<部品図>



(2) 製作に必要な手順と必要な時間数を考え、スケジュール表にまとめよう。

◇◇ 15時間の製作計画を立てよう ◇◇

5年 | 組 ()

製作物
逆上がり補助器

日	曜	1	2	3	4	5	6	計画
11月 6日	月						○	※
7日	火	社会科見学						
8日	水	○						けがきはしめる。
9日	木							⑤はけがき。 ⑥は、けがきをよけさせる。 (早くあいたら(7)に入る)
10日	金							就学時 検診
13日	月							だてがえりに入る。



☆材料や形状・寸法を明確にした完成図を描くことができましたか。

☆製作に必要な手順と必要な時間数を考え、スケジュール表にまとめることができましたか。

3 計画に沿って製作しよう

計画に沿って、必要な技術を学びながら作業をしよう。

- ◇道具を正しく、安全に使っているかな。
- ◇グループのみんなが協力して作業ができているかな。
- ◇進め方を確認しながら作業をしているかな。

けがき



加工



組み立て



やすりがけ



とそう



点検



- ☆ 設計図で確かめながらつくることができましたか。
- ☆ のこぎりやげんのうなどの道具を正しく安全に使うことができましたか。
- ☆ 安全に気をつけて、作業環境を整えながら作業ができましたか。
- ☆ グループの友達と協力して活動を進めることができましたか。
- ☆ 使いやすさや使用時の安全などを考えながらつくることができましたか。

4 完成したものを発表しよう

文化フェスタやお話会を利用して、つくったものを全校に発表しよう。



5 活用しよう

完成したものを校内に置こう。そして、どのように使われているか確かめよう。また、状況に応じて改善していこう。



- ☆ 実際に使われている様子を見ながら、安全や使いやすさを確認することができましたか。
- ☆ 活動全体を振り返り、製作品や活動について自己評価することができましたか。

<平成17年度製作>

踏み台



投てき盤

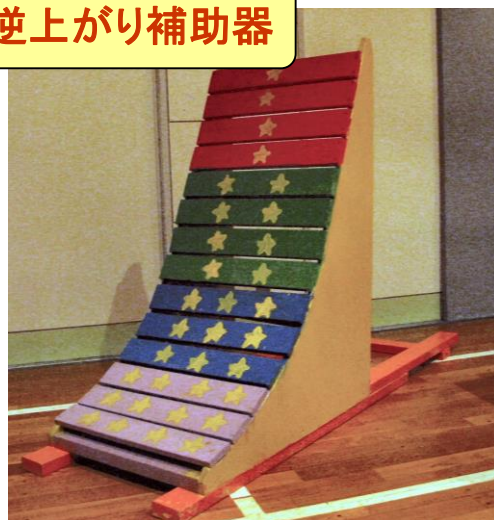


<平成18年度製作>

ベンチ



逆上がり補助器



キャスター付き

本棚



すのこ



野球盤

